

平成28年度 学校評価書

I 経営の重点に関わること

学校名： 静岡市立高等学校

1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、校訓「正しく、強く、明るく」を基に、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成する。		自己評価	学校関係者評価委員会から	
2 重点目標 「土曜授業」を通して、 (1)授業、部活動、家庭学習の時間の確保 (2)地域や保護者に開かれた学校づくりの推進 (3)教職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)に配慮した校内体制の整備を推進する。	(1)授業、部活動、家庭学習時間の確保	①土曜授業の実施に伴い、授業時間の確保に留意する。また、家庭学習調査で実態を把握し、部活動や家庭学習時間の確保・把握にも留意する。【教務課】	A	A 授業時数の確保が出来たので、これからは、AL型授業等を増やしたい。放課後の余裕をどのように生かすのか興味深い。生徒自らが学ぶ意欲も高めたい。
		【学校説明】 生徒に確かな学力を身に付けさせるために、授業日数及び授業時間の確保に留意した。土曜授業実施により年間の授業日数が増える中、さらに無理なく授業・部活動・家庭学習ができるように行事予定も工夫をした。	B	
	②部活動を通した人間性・自主性・社会性及び個性・能力を伸ばし、部活動以外の場面でも力を発揮できる生徒を育成する。【生徒課】	A		A 行事等への保護者からの支援もあり、信頼関係が構築されているように感じた。ナイトウォークの予備日の設定など、保護者がより関わりやすい関係も必要。
	【学校説明】 数値で表せる事柄ではないが、厳しい状況や向い風の場面の様な状況の時に踏ん張れるような生徒が少なくなっているように感じられる。生徒が全ての学校生活の面で「全力で取り組む姿勢」を出すようにはたらきかけを工夫する。		A	
	(2)地域や保護者に開かれた学校づくりの推進	①PTA常任評議会との連携を密にし、「ナイトウォーク」「のみの市」等を成功させるような協力体制を構築する。【総務課】		A
	【学校説明】 「ナイトウォーク」は中止になったが、「のみの市」などの運営には、常任評議員を中心に、評議員の皆様の協力を得て実施し、成果を上げた。	A	B 土曜授業を実施により、部活動などが充実すれば、効果が出来ているということになる。土曜授業からの職員研修のきっかけ作りにならないだろうか。	
	②学校行事や各課・学年からの情報提供を進め、写真等によるWEBページ内容を充実する。【情報課】			A
	【学校説明】 ホームページについては、昨年と比べて閲覧数が1割ほど増加している。これは、2学期からはじめた各部活動顧問による活動報告公開や学校行事報告の公開等Webページの内容を充実させたことによると考えられる。	A	A 心身ともに健康な生活を送れるよう、土曜授業の時間割を調整するとともに、勤務時間の振替を確実に実施する。【管理職】	
	(3)教職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)に配慮した校内体制の整備を推進する。			①心身ともに健康な生活を送れるよう、土曜授業の時間割を調整するとともに、勤務時間の振替を確実に実施する。【管理職】
	【学校説明】 土曜授業等の振替を取れるよう積極的に呼びかけ、取得しやすいよう振替一覧表を職員室に掲示した。今年度取得率が約85%となり、今後さらに取得率を高めていく。	B	B 土曜授業の実施状況を把握し、円滑な実施と更なる改善を図る。また、アンケート等から、土曜授業の効果の検証を行う。【教務課】	
②土曜授業の実施状況を把握し、円滑な実施と更なる改善を図る。また、アンケート等から、土曜授業の効果の検証を行う。【教務課】	B			B 土曜授業の実施状況を把握し、円滑な実施と更なる改善を図る。また、アンケート等から、土曜授業の効果の検証を行う。【教務課】
【学校説明】 土曜授業も2年目となり、前年度の反省を踏まえてより円滑に実施できるようになった。放課後の時間も有効に使えるようになってきている。効果については多方面から更なる検証が必要である。		B	B 土曜授業の実施状況を把握し、円滑な実施と更なる改善を図る。また、アンケート等から、土曜授業の効果の検証を行う。【教務課】	

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から															
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①基本的な生活習慣の確立。学習活動と部活動等を両立させ、高校生活を充実したものとする。【各学年】	B	B 時間を守るというのは、生活の基本であり、徹底させたい。2学年や3学年で欠席遅刻が増えたことを分析することが必要。病気なのか、学習と部活動の両立の問題なのか、原因を突き詰めることが大切。スタディレコードを活用した指導が行われていることは、良いことである。															
		【学校説明】〔1年部〕 8時20分登校が定着しており、副担任が廊下指導を継続して行ったため、遅刻は少ない。学習習慣については、スタディレコードを実施し、担任からも生徒に丁寧なアドバイスを行ったが、さらに充実させたい。	A		A 授業が大切であるというところが、生徒・教職員・保護者で共通理解になっているように感じられる。主体的な学習力を向上させるための指導の工夫とさらなる環境整備が必要である。また、スタディレコードがマンネリ化しないことに注意したい。														
		【学校説明】〔2年部〕 健康に留意し、規則正しい生活習慣を確立することが学業の充実にもつながることを意識させた。しかし、長期休業の明けの時期は、欠席者、遅刻者が多い傾向があった。				A	A AL型の授業の指導法などこれからの時代に求められる学力の育成を目指す授業実践研究にシラバスを役立ててほしい。観点別評価のさらなる研究が必要。												
		【学校説明】〔3年部〕 「当たり前」の当たり前のことを当たり前に行う、派手さはないがこの学年の生徒のよい点であったが、秋以降欠席遅刻等が増えた生徒が出たことが心残りである。しかしながら、学習にも部活動にも行事にも積極的に取り組む姿勢は、下級生の見本になった。						A	A 体育祭などで力を合わせて取り組んでいる姿がたくさん見られた。豊かな体験活動を通して、人間関係や環境を整え、生徒の内面に根ざした道徳性を育みたい。										
		②粘り強く継続的な学習活動を実施し、大学受験等を目標として勉学に耐える学習習慣を定着させる。【各学年】								B	A 部活動に教員も生徒も熱心に取り組んでると感じる。部活動の充実が勉強の力にもつながる。また部活動で先輩後輩という人間関係も大切にしたい。								
		【学校説明】〔1年部〕 毎日の授業や学年集会等で機会を捉えて、小テスト・日々の宿題、予習復習等の重要性を強調してきた。また、自習会や教科担当者も個々への対応を丁寧に行うことで、下位層へのサポートを行ってきた。しかし、学習習慣が定着している生徒もいるが、まだまだ取り組みの甘い生徒もおり、継続的な指導が必要である。										B	A 生徒自身から適性や能力を見出し、将来を見据えた複眼的な進路指導が行われている。大学講演だけでなく企業講演も増やせば良い。						
		【学校説明】〔2年部〕 スタディレコードの継続的な実施と、正副によるチェックと助言を行った。逆算して事を興し実行する計画性や目標を達成するための意志が感じられるようになった。												B	A 大学卒業後の就職状況等の進路調査を行い、在校生に生かしてほしい。生徒の生活の場の「地域への貢献」は、公立学校の大きな目的だと思う。				
		【学校説明】〔3年部〕 正副担任の指導が適切であり、生徒が素直に指導に乗って努力する姿勢が崩れることなく続いた。														B	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。		
		③シラバスを活用して、各学期の最後に到達目標の達成度を確認させる。それを踏まえて、教科指導法の研究及び改善を図る。【教務課】																B	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。
		【学校説明】 シラバスに到達目標のチェック欄を設け、授業の習熟度や進捗度を確認できるように工夫している。今年度は観点別評価法について職員間で共通認識を持つようにしたため、今後は教科指導法の研究や改善に結びつけていく。																	
(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①生徒自らが考え行動でき、仲間と協力し、何かを成し遂げることができるように導く。【生徒課】	A		A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。															
【学校説明】 日々のHR活動、行事、生徒会活動、部活動を通して仲間意識を育て、人間関係を構築させる場と位置づけた。市高祭、スポーツ大会、体育祭などで、生徒会、委員会、部活動の多くの生徒が、準備から片付けまで積極的に参加し、どれも成功を収めることができた。	B	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。																	
(3)特別活動の充実 【市共通項目3】			①部活動等を通して、人間形成を図るとともに、全力で取り組む姿勢や「凡事徹底」を身に付ける。【生徒課】		B	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。													
【学校説明】 日頃から顧問の熱心な指導で、部活動において生徒はほとんども頑張っている。数値で表せる事柄ではないが、全ての学校生活の面で「全力で取り組む姿勢」を出すよう、引き続き継続して指導していく。			A		A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。														
2 生徒指導							(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①昇降口等での挨拶を充実する。「親しき仲にも礼儀あり」の思いで生徒と接しながら、生徒への声掛けを密にする。【生徒課】	A	A コミュニケーション力向上は挨拶から。挨拶プラスαに個性が表れると良い。教師から生徒に挨拶すると学習意欲等も増える効果があるのではないだろうか。									
								【学校説明】 毎朝の昇降口指導で、生徒への声かけ指導をしてきた。また、挨拶の意義を生徒・教職員とも考え、今後も気持ちよい挨拶が交わされる学校づくりを目指していく。	A		A コミュニケーション力向上は挨拶から。挨拶プラスαに個性が表れると良い。教師から生徒に挨拶すると学習意欲等も増える効果があるのではないだろうか。								
3 進路指導							(1)進路指導の充実	①各学年・教科・課(科)との連携を密にし、進路指導の教職員間の目線合わせを確実にする。進路課が提供するプログラムが生徒にとって有意義なものとなるように工夫しながら運営も工夫する。【進路課】		A		A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。							
								【学校説明】 進路講演会を生徒及び保護者を対象として実施し、最新の入試傾向、受験情報を伝えることができた。また、各学年ともに教員と生徒の面談を多く実施するなど、生徒個々に対するきめ細かい指導も行った。	A	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。									
								②生徒が自己の在り方・生き方を考えると共に、将来自分がこの「地域」においてどのような役割を果たすことができるのかを考える機会を提供する。【進路課】			A		A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。						
								【学校説明】 BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。						A	A BFの時間やポイント制を活用しながら、様々な取り組みを通して『なりたい自分』をイメージし、多くの生徒が進路実現に向けて行動できるようになった。				

4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①警察・保護者・地域と連携した指導を行い、交通ルールの厳守・マナーの向上を図る。【生徒課】	A	A	交通事故が減少しているのは良い。まだ高校生の交通マナーが良くない。月に2回か3回、下校時に自転車の交通マナーを徹底的に指導したい。	
		【学校説明】 問題があったら、その都度担任を通じて注意喚起している。全校集会時には、必ず交通安全に関するアナウンスをしている。交通事故報告者は12月末現在14件と昨年より減少している。				
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	②生徒の安心・安全を第一に考え、施設や設備の定期点検及び不具合の修繕を実施し、より快適な学校生活を送れる環境整備を図る。【事務室】	A	A	予期しない自然災害・人的災害に備え、防護に万全を期してほしい。	
		【学校説明】 生徒の安心・安全のため、機械警備業務のほか、15件の施設保守管理等委託業務を契約し、問題なく執行した。また、限られた予算を効果的に執行するため優先度の高い案件から執行・整備した。				
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①障害者差別解消法施行に伴い、支援やケアが必要な生徒に対する迅速な指導・理解と支援を充実する。【保健環境課】	A	A	生徒の困難状況を把握し対応する姿勢は大切である。教師としてのカウンセリングマインドを身に付け、生徒の心のケアに当たりたい。	
		【学校説明】 個別の教育支援計画の作成を通じて、保護者とも連携し、支援を必要とする生徒への指導ができた。スクールカウンセラーの助言を活かし、指導・支援を深めることができた。				
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①ワークライフバランスを図りながら日々の学校業務を円滑に進めるために、振替表の「見える化」を行う。また、職員安全衛生委員会を活性化させる。【管理職】	A	A	振替休日の取得率向上は、教師の健康の保持・増進を図るためには良い。	
		【学校説明】 振替表の「見える化」を実施し、振替取得率が向上した。職員安全衛生委員会からは毎月、働きやすい職場環境づくりのための情報発信を行い、職員研修会も開催した。				
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①職員研修や指導主事定期訪問等、授業研修週間等を活用し、教員間で意見交換や情報交換を進める。【研修課】	A	A	AL型の授業を研修をさらに取り入れ、日々の指導に生かされることが重要である。AL型授業の評価の研修や若い教員のコミュニケーション力の向上も大切。	
		【学校説明】 ユニットによるAL型授業研修やランドデザインの作成にむけた研修等を例年以上に行うことができ、年間を通して非常に充実した研修となった。				
		②図書委員会等を活用し、積極的に情報発信を進める。学習センターとして自主学习等の取り組みを支援する。【図書課】	A		教室に居場所がない生徒や不登校の生徒の自主学习の場として図書館を活用して心のケアが必要。	
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①学校要覧・PTA刊行物等の定期的な刊行物の発刊のため、PTAや各課等との円滑な運営を進める。【総務課】	A	A	定期的なPTA刊行物が効率よく作成されてて良い。学校要覧や学校案内等の刊行物により、地域の人々や中学生などへの広報が充実されている。	
		【学校説明】 PTAと各分掌の協力のもと、予定通り発行することができた。特に、PTA関連の刊行物は、非常に効率よく作業を進めることができた。				
10 施設設備	(1)リサイクルや省エネの推進	②福祉委員や部活動等において、社会貢献活動（ボランティア）及び地域活動への積極的な参加を進める。【生徒課】	B	B	学校での活動が地域に十分に伝えられていない。ボランティアは、地域社会の一員だと自覚出来る。ボランティア意識を個別に高める必要がある。	
		【学校説明】 地域のボランティアやエコキャップ運動に参加したり、日頃部活動で使用している活動場所の整理整頓、清掃などを行う活動を各部活が考えて実施した。しかし、学校全体での総合的な活動や気運づくりには、課題が残った。				
11 科学探究科	(1)科学探究科の特色化と指導の充実	①委員会活動や大掃除の機会を通じ、生徒が掃除の大切さを理解し、ゴミの分別・減量に取り組めるように図る。【保健環境課】	B	A	身近なゴミの分別・減量から環境を浄化改善することを考えさせたい。また用務員が学校内外を大変よく清掃している。	
		【学校説明】 生徒の委員会活動を中心に、ゴミ箱の縮小、分別の呼びかけをすることで、校内美化、持ち物の整理整頓に対する意識喚起ができた。しかし、一部分別せずに捨てる生徒がおり、さらに徹底させたい。				
		②ISEP内の昨年度の課題及びSSHの中間評価を踏まえ、目的や内容等を精査しながら、プログラムを実施する。【科学探究科】	A		各学年で特色あるプログラムが行われている。生徒が多忙すぎたので、負担を軽減出来たことは良い。次期SSHも認定されるように努力してほしい。	
		【学校説明】 各プログラムの内容の見直しを図った。レポートの作成回数や発表会の数を減らしたことは生徒の負担減につながったが、発表会を実施しないことの課題も生まれた。地域の博物館、企業と連携しての研修は好評であった。この取組は次年度以降も継続していきたい。				
		③各教科・科目の特性に応じた少人数指導の在り方を研究し、生徒の学力向上につなげる。【科学探究科】	B		さらに学力を向上させ、志を持った進路実現を期待している。AL型授業も科学探究科はやりやすい。それを一般クラスに広げたい。	
A	【学校説明】 各教科とも工夫して授業に臨んだが、学力向上への効果は、検証する必要がある。					
	③課題研究では、実験ノートを活用した指導を充実する。優れた研究は、各種研究発表会への参加を進め、科学コンクールへの応募を推進する。【科学探究科】	A	課題を自ら見つけ解決する。それが成果として認められることは良い。多様な発表会に参加し、受賞することは、生徒の自信につながる。			
	【学校説明】 数学、化学の発表会に初めて参加し、生徒にとって良い機会となった。また、学生科学賞で、初めて受賞することができた。					
A	④普通科での実施が可能なプログラムについて、生徒に積極的に参加を呼び掛ける。【科学探究科】	A	普通科生徒のプログラムへの参加は、すばらしいことである。			
	【学校説明】 3つのプログラムについて普通科生徒に参加を呼び掛けた。部活動と重なり参加できない生徒もいたが、これらの取組に興味を持っている生徒がいることがわかった。					
学校から 経営のまとめ(成果と課題)				学校関係者評価委員会まとめ		
重点目標である「土曜授業」については、年間授業日数等が確実に確保できた。また無理なく授業、部活動・家庭学習ができるよう行事予定も工夫した。今後さらに家庭学習時間の確保等にも取り組む必要がある。職員の勤務においては、土曜授業の振替等が確実に取得できるよう、ワークライフバランスの意識を高めながら進めたい。多くの生徒が基本的学習習慣を身に付けており、学校行事や部活動へ意欲的、積極的に参加し、生徒の満足度も高かった。今後も個々の自尊感情を高めるとともに、自己有用感を育む指導を全職員で展開したい。進路指導や生徒の進路の実現については、生徒に将来に向けた視野の広さを持たせるとともに、主体性を持った学習を意識させながら、生徒への働きかけをさらに工夫していく。				昨年より評価Aが増えているように思う。校長を中心に学校が一つの方向に向かって動いているように思う。さらに文武両道での教育活動を充実させ、全国の市立高校で最も素晴らしい高校なるように努力してほしい。		